
大学教育学会ニュースレター

No.115 2020.9.25

一般社団法人大学教育学会 (Japan Association for College and University Education)

事務局：〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原 2-8-20-204

TEL/FAX：(042) 707-8112

郵便振替口座：00210-9-102857 一般社団法人大学教育学会

e-mail: jacue.office@gmail.com URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

大学教育学会 2020 年度課題研究集会

統一テーマ

今、学生支援で何を問うべきか： 廣中レポートの 20 年を踏まえて

大学教育学会 2020 年度課題研究集会 企画委員会委員長
沖 清豪(早稲田大学)

2020 年度大学教育学会課題研究集会は、11 月 28 日(土)から 11 月 29 日(日)の二日間、オンラインで開催いたします。準備を進めるにあたり、企画・実行両委員会での検討の結果、今回の課題研究集会の全体テーマを「今、学生支援で何を問うべきか： 廣中レポートの 20 年を踏まえて」として、基調講演および開催校シンポジウムを行うことにいたしました。

2000 年に公表された「大学における学生生活の充実方策について(報告)－学生の立場に立った大学づくりを目指して－」、通称廣中レポートは、教職員の意識改革の必要性を唱え、大学中心の学生支援から学生中心の学生支援への転換を迫る内容でした。特に、学生相談、就職指導、修学指導等について新たな課題や支援の方向性が示され、いずれの課題も支援のあり方が問われることとなりました。もちろん、その後の 20 年の間に大学進学率が上昇し、あるいは高等教育改革が進められる中で、学生像自体も変容を続けてきており、これまであまり意識してこなかった新しい支援のあり方を考え、実行する必要性が高まってきました。また学生やその課題が多様であるがゆえに、個別事例に注目しつつ、支援全体のあり方をどのようにしていけば良いのかについても、改めて考えてみる必要があるでしょう。

さて、2020 年 1 月以降の COVID-19 感染拡大によって、日本のみならず世界の大学はそのあり方について大きな変容を迫られています。大学の歴史と不可分な対面型の教育が困難となり、ほとんどの大学で原則オンラインでの授業を迫られることになりました。特に都市部の大規模大学の場合、キャンパスへの入構も容易ではなく、入学直後の数か月間、教職員だけでなく、同級生や上級生と出会う機会がないままであった新入生も少なくありません。こうした新たな状況に置かれている学生に対する支援は、それ自体が実践上の課題となるものです。またこの課題研究集会自体も、当初は早稲田大学大隈講堂や新しい 3 号館で皆様をお迎えするつもりで準備を進めておりましたが、残念ながらオンラインでの開催に変更となりました。

こうした状況の下、改めて学生支援について考えてみますと、思わぬ混乱の下にある現在であるからこそ、これまでの学生像の変容を踏まえつつ今後の課題を確認することが、新たな支援や考え方の転換に必要なことではないかとも思われます。

そこで今回の課題研究集会では、基調講演として廣中レポートからの 20 年で学生自身や学生相談の内容がどのように変化してきたのか、そして何に注意する必要があるのかについて、学生相談学会の重鎮であり、東京工業大学の学生支援改革を先導されてきた齋藤憲司先生に御講演いただくことにいたしました。

またシンポジウムでは、廣中レポートの時点では注目されていなかった新しい課題について、それぞれの実践や研究を積み重ねてこられた先生方に、何が課題となっており、今後考えていく必要があることは何かについてご報告いただくことにいたしました。

基調講演とシンポジウムを通じて、廣中レポートからの 20 年で私たちはどこまで進み、これから将来に向けて何を考える必要があるのかについて出来る限り広い観点で捉え、ご参加の皆様がそれぞれの立場で今後の大学教育、学生支援のあり方について確認する機会になれば幸いです。

大学教育学会 2020 年度課題研究集会

実施要項

統一テーマ：今、学生支援で何を問うべきか：廣中レポートの 20 年を踏まえて

主 催：一般社団法人 大学教育学会

共 催：早稲田大学 大学総合研究センター

期 日：2020 年 11 月 28 日(土)～11 月 29 日(日)

形 式：オンライン開催(全スケジュール)

【スケジュール】

第 1 日

9:30	10:00	12:30	13:30	14:50	15:00	17:20
開会行事	課題研究シンポジウム I	昼食休憩	基調講演			開催校シンポジウム

第 2 日

9:00	11:30	12:30	15:00	15:15	17:45	18:00
課題研究シンポジウム II	昼食休憩	課題研究シンポジウム III		課題研究シンポジウム IV		閉会行事

【関連行事】

11 月 27 日(金) 13:30～17:00 理事会(オンライン開催)

第 1 日 11 月 28 日(土)

9:30 ～ 10:00 開会行事

開催大学挨拶

学会会長挨拶

10:00 ～ 12:30 課題研究シンポジウム I

「学生の思考を鍛えるライティング教育の課題と展望」

本課題研究は、大学のライティング教育をテーマとして、正課の初年次科目での教育内容や指導方法、正課外のライティングセンターの役割、論題のあり方などを取りあげ、「思考を鍛える」という観点から「自律した書き手」をいかに育成していくかについて論じてきた。

最終年度の報告では、本学会におけるライティング教育研究が、論文や事例報告を通して、「何をいかに取り上げてきたのか」、歩みを振り返ることで、本課題研究の意義と今後の課題を確認する。そのうえで、大学教育全般に渡って、4つのテーマを取り上げ、検討を行う。

高大接続の観点からの論述課題、探究学習を企図した専門科目でのライティング指導、初年次ライティング科目でのリーディング指導、卒業後の職場での経験と大学でのライティング経験との関連性までを見通すことにより、これからの大学のライティング教育のあり方について議論していきたい。

企画者：井下千以子(桜美林大学)、杉谷祐美子(青山学院大学)、小山 治(京都産業大学)、
柴原宜幸(開智国際大学)、成瀬尚志(大阪成蹊大学)、関田一彦(創価大学)、
小笠原正明(北海道大学)、大島弥生(東京海洋大学)

趣旨説明：大学のライティング教育の歩みと意義(仮)

研究代表：井下千以子

サブテーマ1：論述課題と指導内容に関する高大接続の観点からの検討

— 中高一貫校の事例をもとに(仮)

講演者：井下千以子、柴原宜幸

サブテーマ2：探究学習を企図した専門科目でのレポート指導が批判的思考力・論理的表現力の育成に及ぼす効果(1) (仮)

講演者：井下千以子、柴原宜幸、小山 治

サブテーマ3：ライティング教育にいかに関心を持ってリーディングを組み込むか

— 初年次教育科目において —(仮)

講演者：杉谷祐美子

サブテーマ4：大学時代のレポートライティング経験は仕事においてどの程度役立つか

— 社会科学分野と工学分野の比較(仮)

講演者：小山 治

指定討論：山地弘起(大学入試センター)

総括：小笠原正明(北海道大学)

12:30 ～ 13:30 昼食休憩

13:30 ～ 14:50 基調講演

演題：「学生相談・学生支援の20年 ～実践と組織化を支える理念～」

講師：齋藤 憲司氏(東京工業大学教授・日本学生相談学会前理事長)

15:00 ～ 17:20 開催校シンポジウム

テーマ:「今、学生支援で何を問うべきか: 廣中レポート後の新たな課題から」

シンポジスト:

- ① 特別支援教育と高等教育の接続の観点から 近藤 武夫氏(東京大学)
- ② 合理的配慮の観点から 青野 透氏(徳島文理大学)
- ③ LGBT 学生支援の観点から 下田 啓氏(早稲田大学)
- ④ 留学生支援の観点から 大西 晶子氏(東京大学)

司 会: 沖 清豪(早稲田大学)・望月由起(日本大学)

第2日 11月29日(日)

9:00 ～ 11:30 【課題研究シンポジウムⅡ】

「大学教育における質的研究の可能性」

本課題研究は、大学教育を対象とする優れた質的研究の事例収集と質的研究のあり方を探る方法的検討を行うことによって、大学教育における質的研究法の確立に向けた知見の提起を目指すものである。

今回のシンポジウムでは、大学教育を対象とした質的研究の文献調査及び、「コロナ禍における学生の学び」の質的調査(2020年9月～11月にかけて実施)のそれぞれの研究成果について報告する。これらの成果を手がかりとし、大学教育における質的研究をめぐる解決すべき課題についての理解を会員の皆様とともに深め、本課題研究の後半期に向けた具体的な活動の展開へとつなげたい。

企画者: 山田嘉徳(大阪産業大学)、上島洋佑(新潟大学)、森朋子(桐蔭横浜大学)、山咲博昭(広島市立大学)、谷美奈(帝塚山大学)、山路茜(立教大学)、西野毅朗(京都橘大学)、服部憲児(京都大学)

司会者: 上島洋佑(新潟大学)

趣旨説明: 大学教育における質的研究の現状と研究課題(仮)

研究代表: 山田嘉徳(大阪産業大学)

サブテーマ1: 大学教育を対象とした質的研究の文献調査(仮)

講演者: 山田嘉徳(大阪産業大学)

サブテーマ2: 「コロナ禍における学生の学び」の質的調査(仮)

講演者: 上島洋佑(新潟大学)、山田嘉徳(大阪産業大学)、森朋子(桐蔭横浜大学)、山咲博昭(広島市立大学)、谷美奈(帝塚山大学)、山路茜(立教大学)、西野毅朗(京都橘大学)、服部憲児(京都大学)

11:30 ～ 12:30 昼食休憩

12:30 ～ 15:00 【課題研究シンポジウムⅢ】

「学修成果アセスメント・ツール活用支援を通じたエキスパート・ジャッジメントの涵養と大学組織の変容
— 実践的研究の成果と課題」

本課題研究では、教育のデザインと評価にかかる大学教員の専門性(エキスパート・ジャッジメント)を鍛えることを通して、大学組織はいかに学修者本位の教育(学習システム・パラダイム)への転換を果たし得るのか、その転換を導く上で鍵となる条件とはいかなるものかを明らかにすることを目指す。大学教員と大学組織の変容を捉える方法論として、学修成果アセスメント・ツールの開発・共有・活用支援の取組について調査したり、実際に提供したりする点に、本実践的研究のオリジナリティがある。そして、本研究の成果を踏まえて、大学教員の変容と大学組織の変容を繋ぐ教学マネジメントのモデルを構築することに、本課題研究の問題関心がある。

2019 年度課題研究シンポジウムⅢでは、本研究で援用する中核概念と研究枠組み、大学教員の変容を捉えるための「エキスパート・ジャッジメントの涵養」指標、及び「学修システム・パラダイムへの転換」を捉えるための理論的枠組みを整理した。さらに、大学教員個人の変容を基盤とした大学組織の変容のメカニズムを捉える有望なアプローチの一つとして着目している「重要科目での埋め込み型パフォーマンス評価(PEPA)」の理論と課題について整理した。本シンポジウムでは、この研究枠組みにおける進展、および海外調査の成果を整理した上で、3 つのサブグループにおいて取り組んでいる実践的研究の成果と課題について報告する。

企画者： 深堀聰子(九州大学)、松下佳代(京都大学)、伊藤通子(東京都市大学)、中島英博(名古屋大学)、佐藤万知(京都大学)、田中一孝(桜美林大学)、畑野 快(大阪府立大学)、斎藤有吾(新潟大学)、長沼祥太郎(九州大学)

司会者： 田中一孝(桜美林大学)

趣旨説明 : 学修者本位の教育への転換の要件-研究枠組みと取組の全体像
研究代表： 深堀聰子(九州大学)

サブテーマ 1： エキスパート・ジャッジメントと組織変容

発表者： 畑野 快(大阪府立大学)、中島英博(名古屋大学)

サブテーマ 2： 国際調査

発表者： 佐藤万知(京都大学)

サブテーマ 3： 医療系(PEPA)

発表者： 斎藤有吾(新潟大学)

サブテーマ 4： 工学を中心とした全学(PEPA, Assignment Charette)

発表者： 伊藤通子(東京都市大学)

サブテーマ 5： 工学(Tuning テスト問題バンク)

発表者： 深堀聰子(九州大学)

コメント： 濱名 篤(関西国際大学)

15:15 ~ 17:45 【課題研究シンポジウムⅣ】

「アクティブラーニングを支援する学生アドバイザーの制度・研修・効果に関する実証的研究」

本課題研究では、正課のアクティブラーニング型授業におけるティーチング・アシスタント(TA、主として大学院生)・スチューデント・アシスタント(SA、主として学部生)などを「学生アドバイザー(以下、LA)」と置き、学部生を含めたピアの学修支援を実現する制度・研修・活動・効果について実証的に研究することを目的とする。今回のシンポジウムでは、運営者向けアンケート調査、学生・LA・授業担当教員向けの各種調査の経

過報告をもとに、LA 憲章(学修支援の実践を支える LA 実践のガイドライン)の提案を行い、各大学のこれからの実践へつなげる議論としたい。

企画者：杉森公一(金沢大学)、堀井祐介(金沢大学)、河内真美(金沢大学)、山本啓一(北陸大学)、
田尻慎太郎(北陸大学)、宮本知加子(福岡工業大学)、三浦真琴(関西大学)、
安部(小貫)有紀子(大阪大学)

企画協力者：沖 裕貴(立命館大学)

司会者：杉森公一(金沢大学)

報告：運営者・学生・LA・授業担当教員向けアンケートの調査設計と経過報告
講演者：杉森公一(金沢大学)

総合討論：LA 憲章(ガイドライン)の提案
登壇者：課題研究委員を中心に調整中

指定討論：沖 裕貴(立命館大学)

17:45 ～ 18:00 閉会行事

学会副会長挨拶

次年度大会開催校・課題研究集会開催校御挨拶

<課題研究集会実行委員会からのお知らせ>

1. 参加申し込み等、通常の運営との相違点について【重要】

理事会でご議論いただいた結果、2020 年度課題研究集会は学会会員のみ参加可能とし、参加費は徴収しないこととなりました。また、参加の事前登録などは実施せず、課題研究集会開催日の直前に参加方法などについて、別途メールや学会ウェブサイト等を通じてご連絡いたします。

なお、団体会員の取り扱いにつきましては、学会事務局より別途ご連絡いたします。御承知おきください。

2. 課題研究プログラムのスケジュールについて

従来、課題研究シンポジウムは第 2 日午前・午後に2つずつ並行して実施されてまいりました。今回は、課題研究シンポジウム I を第 1 日午前 10 時から実施していただくことで、I からIVまで4つの課題研究シンポジウムすべてに参加することが可能となっております。

3. 課題研究集会実行委員会の連絡先

課題研究集会実行委員会へのお問い合わせにつきましては、kadai2020@list.waseda.jp にメールでご連絡ください。

＝理事会から＝

(2020年8月23日に2020年度第2回理事会が開催されました。詳細はウェブサイトをご覧ください。)

● 規程の制定及び一部委員会の名称変更

- ① 新たに大学教育研究力向上委員会規程が制定されました。
- ② 名称変更
企画委員会 → 事業構想委員会

● ワーキンググループの設置

- ① リサーチ・コロナ WG の設置
大学教育が直面している状況や課題について把握し、社会へのメッセージを発信するための調査・分析を行う。
- ② 成果物ウェブサイト公開及び倫理委員会設置検討 WG の設置
・成果物のウェブサイトへの公開の範囲や方法の検討
・学会活動におけるアンケート調査等の倫理審査について

● 学会ウェブサイトの再構築

2021年3月公開予定

＝事務局から＝

● 大学教育学会第43回(2021年度)大会について

2021年度第43回大会は、2021年6月5日(土)・6日(日)に関西大学千里山キャンパスにて開催予定ですが、新型コロナウイルス感染拡大の状況によりオンライン形式での開催に変更される可能性もございます。

お申込み等詳細について、次号(NL116号)にてお知らせの予定です。

● 2020年度(第16回)大学教育学会奨励賞の募集について

大学教育学会奨励賞は、大学教育および大学教育研究の発展を期して設けられました。受賞対象者は本学会個人会員です。2020年度(第16回)は、第39第1号から第42巻第2号までの過去4年間の学会誌に掲載された論文が対象となります。応募は自薦・他薦を問いません。

- ① 提出書類 <自薦>論文、応募者の略歴及び業績一覧、応募理由(研究の意義・成果など1,000字以内)／<他薦>論文、推薦理由(研究の意義・成果など1,000字以内)
- ② 募集締切 2021年1月8日(金)必着 (締切厳守)
- ③ 送付先 大学教育学会事務局
〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原2-8-20-204

なお奨励賞についての詳細は、「一般社団法人大学教育学会表彰規程」第2章をご確認ください。(本学会ウェブサイト内掲載)

● 会費納入のお願い

今年度(2020年度)会費が未納の会員には、請求書及び郵便払込票を同封させていただいております。過年度分会費の未納がある会員は、速やかにご入金ください。ご入金9月7日以降の場合、請求書及び郵便払込票が同封となっている場合がございます。会費納入状況について不明の場合、下記の大学教育学会 学会業務取扱センターまでお問い合わせください。

納入は、下記のオンライン決済、または従来通り郵便払込票をご利用ください。

領収書につきましては、オンライン発行をご利用ください。

年会費等郵便振替口座 00210-9-102857 「一般社団法人大学教育学会」

また、銀行からご入金を希望される場合は、入金前に必ず、下記の大学教育学会 学会業務取扱センターまでその旨ご連絡下さい。

<「入退会・会員登録情報変更・会費納入状況」の問い合わせ先>

大学教育学会 学会業務取扱センター

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨丁目24-1-4F

TEL:03-5981-9824 FAX:03-5981-9852

E-mail:g022lges-mng@ml.gakkai.ne.jp

過年度会費の滞納がある場合は、学会誌の発送を見送る措置をとらせていただいております。納入状況は、学会ウェブサイトの会員ページ内にあります「会員情報の照会・更新」からご自身で確認可能です。または、上記の大学教育学会 学会業務取扱センターまでお問い合わせください。

● 年会費のオンライン決済の利用方法・領収書のオンライン発行の手順

2018年度より、年会費のクレジットカードによるオンライン決済ができるようになっております。同時に領収書のオンライン発行も可能となりましたので、ご利用ください。

大学教育学会ウェブサイト・トップページにある「年会費オンライン決済」のボタンをクリックし、「オンライン決済ログイン」もしくは「領収書発行ログイン」のどちらかを選択します。

<オンライン決済の場合>

- ① 会員情報管理認証画面に移行しますので、会員IDとパスワードを入力し、ログインします。
- ② オンライン決済のページに移り、会費請求額が示されますので、ご確認の上、決済金額をご入力ください。
 - * 過年度分の会費が未納になっている方は、「年会費請求額」および「決済金額」を確認してください。
 - * デフォルトで未納分を合算した請求額を決済金額としていますので、単年度のみ決済を希望される場合は、決済金額を変更してください。この場合、古い年度分から決済されます。
- ③ オンライン決済画面では、決済金額を確認し、クレジットカード情報を入力してください。
 - * クレジットカード情報等の決済内容は、決済代行会社へ送信されるだけで、大学教育学会のサーバーに蓄積されることはありません。また、決済代行会社への通信は、SSL暗号化通信により、通信の秘密は保持されます。
- ④ 未納の会費がない場合は、「未納の会費請求データが見つかりませんでした」と表示されます。

<領収書のオンライン発行の手順>

- ① 会員情報管理認証画面に移行しますので、会員IDとパスワードを入力し、ログインします。
- ② 会員情報管理メニューの「年度別に会費を照会する」のボタンをクリックします。
- ③ 年度ごとに納付状況が示されます。領収書の必要な年度の「領収書の発行」ボタンをクリックします。
- ④ 領収書発行の画面の指示に従ってください。

● 「JACUEセレクション2021」の募集について

大学教育学会は、各大学の大学教育改革、効果的な大学教育実践を支援するために、優れた書籍を選定し、「JACUE セレクション」として広く紹介することになっています。

「JACUE セレクション 2021」の募集要項は、12月上旬に公表する予定です。
これまでのJACUE セレクションについてはウェブサイトをご参照ください。

● オンライン検索サービス提供について

従来の名簿に代わる会員検索サービスは、個人会員、団体会員が利用可能です。(ID・PWの入力が必要です。) 検索対象は個人会員のみです。

情報検索項目(基本情報)は、【氏名】、【カナ】、【所属先】、【専門領域】の4項目で検索(部分検索)可能です。その他の項目の開示・非開示については、会員本人の選択項目になります。

● 学会関連資料のご寄贈のお願い

特に探究している資料は、以下の通りです。学会事務局まで「着払い」でお送りください。
大会発表要旨集録等(1979,1981, 2000, 2002, 2004年)
課題研究集会要旨集
(1981,1982,1985,1986,1987,1988,1989,1992,1993,1998,2001,2003,2004,2005,2008年)
その他、一般教育学会時代の資料についてもご寄贈をお待ちしています。

● 住所変更等会員情報更新のお願い

ご住所、ご所属や役職等に変更がある方は、速やかに、学会ウェブサイトの「会員ページ」にあります「会員情報の照会・更新」からご自身でご変更をお願い致します。ID(会員番号)・PWを紛失された方は、大学教育学会 学会業務取扱センターまでお問い合わせください。

定期刊行物は、宅配業者DM便を利用しているため、転居にともなう転送はされず数週間後、事務局へ返送されてまいります。何卒ご協力をお願い致します。

● メールマガジンの受信設定のお願い

現在、会員の皆様に年数回、大学教育学会メール通信(メールマガジン)を配信しております。しかし、受信拒否や宛先不明を理由に返送されてくるメールが多数あります。ご登録のアドレスにおいて学会アドレスjacue.office@gmail.comより送信されましたメールを受信できるよう設定をお願い致します。

※事務局からのお知らせは、本学会ウェブサイトにも掲載いたします。

URL:<http://www.daigakukyokugakkai.org/>



【大学教育学会事務局】

〒252-0231 神奈川県相模原市中央区日根町2-8-20-204

Tel/ Fax: 042-707-8112

E-mail: jacue.office@gmail.com

URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

【入退会・会員登録情報変更・会費納入状況についてのお問い合わせ先】

大学教育学会 学会業務取扱センター

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1丁目24-1-4F

TEL: 03-5981-9824

FAX: 03-5981-9852

E-mail: g022ges:mng@ml.gakkai.ne.jp